

医師と医師会を結ぶ情報紙

平成28年9月15日/毎月1回15日発行

都医 NEWS

Vol. 607

| | |
|-------------------------------|----|
| 平成28年度関東甲信越医師会連合会 | 01 |
| 底流/平成28年度地区医師会・区市町村在宅療養担当者連絡会 | 02 |
| 国際モダンホスピタルショー2016 ほか | 03 |
| みどりの広場 ほか | 04 |
| ふれあいポスト | 05 |
| 都医からのお知らせ ほか | 06 |
| 地区医師会長からの一言 | 08 |

発行所 公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL.03-3294-8821(代) 定価 1部75円

新発売 (薬価基準収載)

習慣性医薬品：注意—習慣性あり
処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

フィコンパ® 錠 2mg
錠 4mg
Fycopma® (ペランパ(ペラノール水和物製剤))

製造販売元 **Elsar** エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10

製品情報お問い合わせ先：
エーザイ株式会社 hhcホットライン
フリーダイヤル 0120-419-497
9～18時(土、日、祝日 9～17時)

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

FYC1605M06



浮間公園の浮間ヶ池と風車

平成28年度関東甲信越医師会連合会

医療保険部会 地域包括ケア部会



7月16日(土)に都内において平成28年度関東甲信越医師会連合会医療保険部会および地域包括ケア部会が開催され、各部会とも活発な意見が交わされた。

医療保険部会

平成28年度診療報酬改定の問題点などについて意見交換

東京都医師会からは近藤太郎副会長、蓮沼剛理事が出席した。およそ2時間にわたって、主に平成28年度診療報酬改定の問題点および新専門医制度などに関して活発な意見交換が行われた。

協議テーマとして、「新専門医制度について」(茨城県・山梨県)、「地域包括診療加算および地域包括診療料について」(神奈川県・東京都)、「差額ベッド代の退院時支払拒否、退院後返還請求について」(千葉県)、「医療へのアウトカム評価導入について」(栃木県)、「医療・介護の一体化の取り組みにおける介護保険

と医療保険の矛盾点について」(栃木県・神奈川県)、「小児かかりつけ診療料について」(新潟県)が取り上げられた。東京都医師会からは地域包括診療加算および地域包括診療料(認知症を含む)における「適切な研修」に関する具体的な明文化を要望した。

東京都医師会として、「差額ベッド代の退院時支払拒否、退院後返還請求」に関して、「入院時にしっかりと説明する、入院時に正式な契約を締結する、保証金や前金を徴収するなど望ましい」と意見を述べた。

また、「小児かかりつけ診療料」に関しては、「現在の施設基準では、専ら小児科または小児外科を担当する常勤医師」という非常に厳しい条件が課されており、より多くの医師がこの診療料を算定するために、今後の条件の緩和が必要である」と意見を述べた。

部会に出席した日本医師会の中川俊男副会長が、各協議テーマに関する議論の総括およびコメントを述べ、医療保険部会を終了した。

各都県医師会から提出されたテーマを5つに絞って討議

東京都医師会からは安藤高夫理事、渡辺象理事、平川博之理事が出席した。今回は各都県医師会から12のテーマが提出されたが、討論は5つのテーマに絞って討議された。

検討テーマは「在宅医療・介護連携に関する相談支援(介護保険)を機能強化型訪問看護ステーション(医療保険)の要件の一つに」(神奈川県)、「訪問診療医の確保について」(群馬県)、「介護認定審査会の負担軽減のための方策について」(埼玉県)、「医療系サービスは、居宅介護支援事業所集中減算の対象外とすべきではないか」(千葉県)、「地域医療介護総合確保基金

における在宅関連経費の確保について」(山梨県)。紙上回答は、「在宅医療連携における情報連携について」(茨城県)、「地域支援事業に移行することに関して」(群馬県)、「医療側の多職種連携に対する診療報酬評価について」(群馬県)、「病院と施設(老人保健施設)で実施されるリハビリテーションに関して」(埼玉県)、「地域包括ケアのクリティカル・インディケーターについて」(東京都)、「地域包括ケアシステムと多職種協働について」(東京都)、「多職種連携ツールとして構築したICTシステムの維持管理、特にランニングコスト等の費用面について」(新潟県)である。

東京都医師会からは、「地域包括ケアシステムと多職種協働について」の資料として都民への地域包括ケアにおける多職種連携の理解を深めるための冊子「住み慣れた街でいつまでもチームで支えるあなたの暮らし」(東京都多職種連携連絡会作成)を配布し、多職種連携を可視化したものとして好評を得た。

最後に、日本医師会の鈴木邦彦常任理事が各検討テーマに対する総括を行った。また、各地域で地域包括ケアを進めていくうえで欠かせない在宅医療の推進のためにも、平成28年度から創設された日医かかりつけ医機能研修制度への参加を求めて地域包括ケア部会は閉会となった。



東京都医師会からは、「地域包括ケアシステムと多職種協働について」の資料として都民への地域包括ケアにおける多職種連携の理解を深めるための冊子「住み慣れた街でいつまでもチームで支えるあなたの暮らし」(東京都多職種連携連絡会作成)を配布し、多職種連携を可視化したものとして好評を得た。

最後に、日本医師会の鈴木邦彦常任理事が各検討テーマに対する総括を行った。また、各地域で地域包括ケアを進めていくうえで欠かせない在宅医療の推進のためにも、平成28年度から創設された日医かかりつけ医機能研修制度への参加を求めて地域包括ケア部会は閉会となった。

みどりの広場

未病の改善に向けて 慶應義塾大学 環境情報学部教授 渡辺賢治



援する未病対策である。例えば公園で行うラジオ体操や、公民館などで行う体操である。中国では昼夜を問わず公園で太極拳をやる集団を見かける。こうしたコミュニティの効果は、単に個人の努力よりも仲間がいるから継続しやすいというだけでなく、仲間と話すことによる生きがい創生にもつながる。

わが国は高齢化が進み、4人に1人が65歳以上となった。高齢化の波は地方から始まったが、東京都も高齢化率は21%を超え、超高齢社会に突入している。今後社会を維持するためには、高齢者も元気で活躍する必要がある。寿命と健康寿命との差は男性で約9年、女性で約13年ある。残念ながら東京都はこの差が大きい。健康寿命を延伸して、年齢を重ねても心身ともに元気で活躍する人であられる社会を作ることが求められる。

そのためには病気になる前から予防や健康増進を心がけなければならぬ。いわゆる「未病」の段階での改善である。「未病」は漢方医学の言葉であり、未病の段階で治すことが最高の治療とされる。未病を「治す」ためには、まず未病を見抜く力が必要である。足腰の痛みで漢方外来を受診する患者さんも多いが、骨が変形してしまつては内科的治療ではなかなか追いつかない。もっと早い段階で予防すべきだったのと思うこと

がよくある。大抵の場合、関節などの痛みが出るまでに長い期間フレイル症候群の状態が先行している。この段階で筋力アップなどを図ればよいのだが、逆にこの段階では医療機関を受診しない。

ではどうすればよいのであろうか？ 1つは啓発であろう。個人個人が意識を持ってフレイル症候群から脱却すべく筋トレをする。これは個人の努力による未病対策である。もう1つは個人の努力をさらに補うコミュニティで支

えらう。散歩のあとにはケーキ屋さんの一服を。1つは中和田の菓子の家シーフォン。鮮度・素材にこだわりの物を使わないと、店内ではまモン似のご主人がケーキ作り中だ。注文後にクリームを泡立てて作るシュークリームや好きなキャラクターを描いてくれるデコレーションケーキなどは子育て家族に大人気で、素材でおいしい作りたてを味わえる。もう一店はル・アップラン。一押しは限定の和菓で作ったモンブラン。難しい創作は不要、素材のおいしさを最大限に生かし、30分以内の作りたてを食べることを念押しされる。



菓子の家シーフォン

聖蹟桜ヶ丘散策

身近に楽しむ 多摩の自然

趣味の散歩

多摩市の玄関口、聖蹟の頃に見えた天の川も今桜ヶ丘駅から5分も歩けば川や山の自然が身近になる。造られた緑地など違って多摩川を越えれば本物の自然だ。しかし多摩丘陵の宅地化は進み、子供坂へ。1995年シブリア作

品映画「耳をすませば」の舞台(聖蹟桜ヶ丘駅のチャイムは映画使用曲「カントリロード」とされている景色を望める(往復1時間コース)。坂が苦手なら約5分で多摩川へ。ナデシコやヒガン花、くちぼ(川の

散歩のあとにはケーキ屋さんでの一服を。1つは中和田の菓子の家シーフォン。鮮度・素材にこだわりの物を使わないと、店内ではまモン似のご主人がケーキ作り中だ。注文後にクリームを泡立てて作るシュークリームや好きなキャラクターを描いてくれるデコレーションケーキなどは子育て家族に大人気で、素材でおいしい作りたてを味わえる。もう一店はル・アップラン。一押しは限定の和菓で作ったモンブラン。難しい創作は不要、素材のおいしさを最大限に生かし、30分以内の作りたてを食べることを念押しされる。

が飛び始める。(多摩市医師会・牛尾龍明)

ヘルプマークを知っていますか？

ヘルプマークとは、援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。

(例)義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など

■ 配布場所 ■

都営地下鉄各駅(押上駅、目黒駅、白金台駅、白金高輪駅、新宿線新宿駅を除く) 駅務室、都営バス各営業所、荒川電車営業所、日暮里・舎人ライナー(日暮里駅、西日暮里駅) 駅務室、ゆりかもめ(新橋駅、豊洲駅) 駅務室、多摩モノレール(多摩センター駅、中央大学・明星大学駅、高幡不動駅、立川南駅、立川北駅、玉川上水駅、上北台駅) 駅務室(一部時間帯を除く)、東京都心身障害者福祉センター(多摩支所を含む)等

(お問い合わせ先) 東京都福祉保健局障害者施策推進部計画課
TEL 03-5321-1111 (内線33-226)

難病医療 相談会

お問い合わせ先 TEL 03(3294)8821
東京都医師会医療福祉課

- [日 時] ▶ 毎月第2木曜日(8月・1月除く) 15時~
- [場 所] ▶ 東京都医師会(千代田区神田駿河台2-5)
- [申 込] ▶ 事前電話 予約申込制(9時30分~正午)
- [対 象] ▶ 東京都内在住の難病患者及び家族
- [費 用] ▶ 無料

知っていますか?

新型栄養失調

3食たべているのに栄養失調に陥る高齢者が増加している。厚生労働省調査で70歳以上の5人に1人が該当すると報告された。主な原因は偏食、特に肉・卵を避けるための蛋白質不足と、肥満への過剰反応による粗食である。高齢者になると蛋白質の消化管吸収が低下するため、若い時より摂取量を増やす必要がある。最近若い女性にも増えてきている。野菜摂取の前に肉類摂取による体づくりは大切である。

う結果が出ている。社会活動も、同世代とだけできなく、いろいろな世代と交流すること(家族ではない多世代交流をわれわれは「斜交関係」と呼んでいる)が重要といことになる。漢方医学の「心身一如」は、心と身体が一体であることを指す。健康寿命延伸のためには心のケアまで医師は考えなくてはならない。個人の努力でできることへの指導とともに、斜交関係ができるような社会活動も勧めたいだけば幸いである。

掲示板

医師会員先生方
ご著書をご紹介
ください



自薦・他薦OK 募集中!

各地区医師会におかれまして、会員が出版された本がございましたら、この掲示板のコーナーで紹介してみませんか。

都医ニュースでは、本年も会員の先生方が出版されました本を募集いたします。この掲示板のコーナーは、主に会員の先生方が出版された本を中心に紹介していきます。

ご自身で、またはお知り合いの先生で本を出版された方がおられましたら、ぜひこの機会に東京都医師会・広報医療情報課までお知らせください。

【お問い合わせ先】東京都医師会広報医療情報課
TEL 03-3294-8821